



FROM ユアブレーション 尾上会計事務所



補助金情報を2つ

P1

1. 姫路市産業デジタル化支援補助金の2次募集について

①働き方改革 ②非接触サービスの導入 ③生産性の向上に係る取組 という3つのテーマのどれかに関連して、姫路市内の中小企業者が、パソコン等のデジタル機器を導入し、業務の改善に取り組む場合に、導入費用の3/4が従業員1人当たり15万円まで（1事業者辺り上限200万円）が補助されるという内容でした。

この補助金は、いわゆるコンテストで内容を競って採択されるものではなく、要件を満たせばどの事業者でも「早いもの勝ち」で承認される補助金でした。昨年11月20日から募集が開始されたこの補助金は、当初からの予想通り申請が殺到し、翌月の12月15日消印分までの申請で予算を消化し、受付が早期に終了してしまいました。

そんな情報聞いてなかったとか、申請しそこねたという事業者様、ご安心下さい。商工団体他、各方面からの要望も大きく、国からの予算が付きしだい、近いうちに2次募集が行われるとの情報があります。次回はもれのないよう、そして出遅れないよう、申請開始と同時に提出するくらいの準備をしましょう。詳細は弊事務所担当者にお尋ねください。

2. 事業再構築補助金について

次に注目されているのが「事業再構築補助金」です。詳細はまだ発表されておきませんが、申請前の直近6ヶ月のうち任意の3ヶ月の合計売上高が、コロナ以前の同3ヶ月の合計売上高と比較して10%以上減少している中小企業者が応募可能となるようです。新規事業分野への進出等の新分野への展開、業態転換、事業再編などに取り組む中小企業を対象に、基本的に中小企業で2/3、中堅企業で1/2、最大で1億円が補助される予定です。

この補助金は、いわゆるコンテスト形式となります。申請書を審査されて採択が決まります。したがって、内容が勝負を決めることとなります。ただし、この事業再構築補助金の予算は、昨年までのものづくり補助金の約10倍の1兆円を超えるかつてない大規模なものとなるそうですので、採択率はそれほど厳しいものではないのではと期待されています。

公募開始は令和3年3月初旬頃と思われますが、詳細はまだ公表されておきません。公募は複数回にわたり通年で申請可能な方式となる予定ですので、本来慌てる必要はないのですが、他の補助金の例でも、早い回ほど採択されやすい傾向があります。ご関心おありの事業者様は、第1回目に応募すべく、情報収集をしながら、構想を練り始めていただければと思います。また弊事務所からも随時情報発信してまいりますので、ご注目ください。



インボイス制度導入に向けて 事前準備をしましょう

P2

□インボイスとは？

請求書などを発行するとき、売り手が買い手に対して正確な適用税率や消費税額を伝えるもので、令和5年10月1日から記載が必要になります。下図はインボイス制度導入後の請求書です。

請求書			
(株)〇〇御中		1	
(株)△△(T1234・・・)			
令和〇年〇月〇分			
〇月10日	割りばし	550円	
〇月25日	牛肉 ※5,400円		
合計5,950円			
2	(10%対象 550円 内税 50円)		
	(8%対象 5,400円 内税 400円)	3	
※は軽減税率対象			

①～③の記載が必要になります。
①登録番号
＜課税事業者のみ登録できます＞
②適用税率
③税率ごとに区分した消費税額等

①の登録事業者になるためには、「適格請求書発行事業者の登録申請書」の提出が必要になります。令和3年10月1日から、登録申請の受付が開始されます。

□インボイス制度とは？

- ・売り手である登録事業者は、買い手である取引相手から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません。
- ・買い手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として取引相手である登録事業者から交付を受けたインボイスの保存が必要となります。

□制度導入までのスケジュール

登録申請書は、令和3年10月から提出が可能です。

令和5年10月1日から登録を受けるためには、原則として、令和5年3月31日までに登録申請書を提出する必要があります。

令和3年10月1日

令和5年3月31日

令和5年10月1日

登録申請書の
受付開始

インボイス制度
の導入

※新たにハクションレターの配信先をご紹介頂ける場合には、お手数ですが□に✓を入れご返信ください。

□ 下記へ配信してください。

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛

FAX 079-288-0997

会社名

TEL

FAX



ノーベル賞受賞者が語る無人電気自動車の 普及による未来の社会

P3

2019年リチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏が今後のエネルギー分野における未来の社会について語られていますので紹介させていただきます。

氏は近い将来登場すると予想されている無人電気自動車が、地球環境問題、特に大気中の二酸化炭素濃度増加という課題解決に大いに貢献するだろうと提唱しています。

【無人電気自動車とはAI技術（学習したデータから新しいものを生成できる技術、人工知能）をベースとした自動運転機能によりドライバーなしで走り回る電気自動車のことです。】

私たちでもすぐに思いつく無人電気自動車の利点は、二酸化炭素を排出しないことです。しかしそれだけではありません。今ITの世界では各種のサービスがクラウド（インターネットなどのネットワーク経由でユーザーにサービスを提供する仕組み）という形で提供されています。

昔は重いソフトウェアもデータも自分のパソコンに入れて使っていました。しかし、今ではクラウド上のソフトウェアやデータに直接アクセスして使うのが一般的です。従って、今や多くの人が音楽データを自分のプレイヤーに入れずに、クラウドから逐次ダウンロードしながら再生して楽しんでいます。同じように将来の自動車もネットワーク化され、みんなで共有できるものになるでしょう。

いつでもどこでも無人電気自動車が迎えに来てくれる定額サービスが普及すれば、車を自分で所有する必要も減るでしょう。マイカーが減れば地球環境への負荷、交通渋滞、交通事故も減らすことができます。

さらに無人電気自動車は「人」だけでなく「電気」を運ぶこともできます。この無人電気自動車を「巨大な蓄電システム」として社会インフラに組み込み、電力需給バランスの安定に活用するのです。つまり、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーでの発電量は、天候などの自然条件に左右されます。そこでインターネットにつながった無人電気自動車が、蓄電池として電力を貯めたり、放出したりする機器となるのです。このように車と電池と社会システムが一体化すれば、電気が足りなくなることも余ることもありません。

従って、莫大な費用のかかる発電所をたくさん作る必要もなくなります。

過去にIT革命が起こったように、今後エネルギー分野において無人電気自動車を通して革命が起こるでしょう。氏はそれをエネルギー革命と呼んで提唱しています。

参考文献：吉野彰 NHK カルチャーラジオ科学と人間「電池が起こすエネルギー革命」

NHK 出版

（記事担当：増田）

※今後ハクションレターの配信をご希望されない方は、お手数ですが□に✓を入れご返信ください。

☐ 今後希望しない

ユアブレーション 尾上会計事務所 宛

FAX 079-288-0997

会社名

TEL

FAX